日本（農林水産業）

ポイント１　農業

____にあてはまる語句を確認しましょう。

① 日本の主な農業

稲作（いなさく）	東北地方 や 北陸 の平野部でさかん（日本の穀倉（こくそう）地帯） 近年は品種改良や土地改良により北海道でもさかん 早場米（はやばまい）：他の産地より早く収穫する
果樹栽培（さいばい）	水はけがよく日当たりが良い斜面や扇状地でさかん
畜産（ちくさん）	北海道や九州南部（鹿児島県・宮崎県）などでさかん

資料1　稲作

近郊（きんこう）農業：大都市周辺で野菜・花などを栽培

施設園芸農業：ビニールハウス・温室などの施設を利用

促成（そくせい）栽培：冬の温暖な気候を利用し出荷時期を 早める

抑制（よくせい）栽培：夏の冷涼（れいりょう）な気候を利用し出荷時期を 遅らせる

※温室で電照により日照時間を延ばして成長を抑え，出荷時期を遅らせるものもある

② 課題

高度経済成長期に工業化を進め，1990年代以降，

農産物の 輸入自由化 を推進した結果，

日本の 食料自給率 が低下

└ 国内で消費する食料のうち，国内産でまかなえる割合

農業は天候に左右されるなど収入が不安定なこともあり，

農業従事者の減少，後継者不足・高齢（こうれい）化の問題につながる

資料2　主な国の食料自給率

	穀類	いも類	野菜類	果実類	肉類	卵類	牛乳・乳製品	供給熱量総合食料
ドイツ	113	117	40	25	114	71	123	95
フランス	189	116	73	57	98	100	123	127
イタリア	69	45	141	106	79	90	68	60
アメリカ合衆国	127	96	90	74	116	105	104	130
日本	28	73	77	38	51	96	59	**37**

（2013年，日本は2018年度）
（「日本国勢図会」2020/21年版より作成）

ポイント2　林業と水産業

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 林業

日本は降水量が多い温帯の気候

国土の＿**約3分の2**＿が森林

森林の約4割は林業に向いた人工林

（すぎ，ひのきなど）

恵まれた環境（かんきょう）で林業が発達

1960年代までは木材をほぼ自給していた

↓

1970年代以降は海外からの木材の輸入が増加

現在も多くを輸入に頼っている

日本の林業の低迷，林業従事者の減少などをうけて

地元木材使用も奨励（しょうれい）されてきた結果，自給率が回復

しつつある

資料3　三大美林

天然の三大美林	青森ひば　（青森県） 秋田すぎ　（秋田県） 木曽（きそ）ひのき　（長野県）
人工の三大美林	天竜（てんりゅう）すぎ　（静岡県） 吉野（よしの）すぎ　（奈良県） 尾鷲（おわせ）ひのき　（三重県）

資料4　林業

② 水産業

日本近海は大陸棚が広がり，

暖流と寒流がぶつかる潮目（潮境）もあることで好漁場となっている

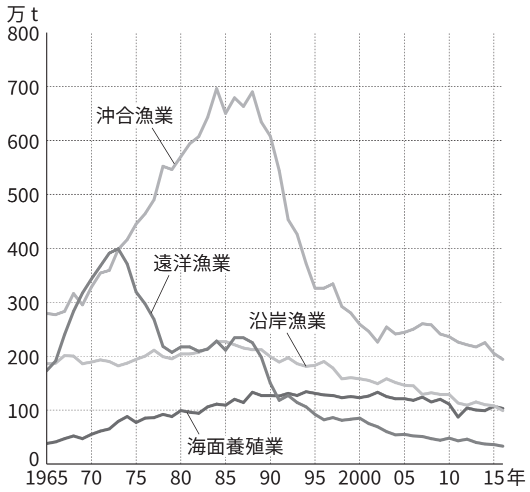
沿岸漁業	海岸近くの海で日帰りで行う漁業
沖合漁業	沖合の海で数日かけて行う漁業 日本近海の不漁で急速に減少
遠洋漁業	遠く離れた海で行う漁業 排他的経済水域（EEZ）の設定などで減少

「とる漁業」から「育てる漁業」へ

養殖漁業	いけすなどで水産物を人工的に育てる漁業
栽培漁業	稚魚や稚貝を卵からふ化させある程度まで 育てたあと，海や川に放流する漁業

近年は輸入も増加

資料5 水産業の漁獲高推移



（2016年度）
（農林水産省資料より作成）

資料6 水産業

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 大都市周辺で野菜・花などを栽培する農業を何というか。　**近郊農業**

(2) 冬の温暖な気候を利用し出荷時期を早める栽培方法を何というか。　**促成栽培**

(3) 国内で消費する食料のうち，国内産でまかなえる割合を何というか。　**食料自給率**

(4) 遠く離れた海で行う漁業を何というか。　**遠洋漁業**

(5) いけすなどで水産物を人工的に育てる漁業を何というか。　**養殖漁業**

(6) 夏の冷涼な気候を利用し，出荷時期を遅らせる栽培方法を何というか。　**抑制栽培**

(7) 東北地方や北陸の平野部などでさかんに生産される，日本において比較的食料自給率が高い穀物は何か。　**米**

(8) 稚魚や稚貝をある程度まで育ててから放流する漁業を何というか。　**栽培漁業**

(9) 陸から比較的近い場所で日帰りで行われる小規模な漁業を何というか。　**沿岸漁業**

(10) 日本近海の不漁で急速に減少した，陸地から離れた場所で数日間行われる漁業を何というか。　**沖合漁業**

(11) 日本の国土のうち，森林の割合は約何分の何か。　**3分の2**